

20歳になりました

本紙の赤ちゃん紹介コーナー「1歳になりました」は、昭和63年8月にスタートし、これまで約4,300人の子供たちを掲載。ここでは、新成人4人を当時の写真と合わせて紹介します。



ひろ やす
長根寛泰さん
(田の浜)

無事に成人できたことについて、ここまで育ててくれた両親に感謝しています。現在は釜石の精密機器会社に勤めていますが、責任感のある大人になって出世したいです。



り さ こ
佐々木梨沙子さん
(織笠)



も め こ
佐々木萌子さん
(織笠出身)

式では懐かしい面々が集まりましたが、まだ中身は変わっていないですね。今は宮古の看護学校に通い、看護師を目指しています(梨沙子さん) / 山田でお店を開きたいと考え、美容師の勉強をしています。早く復興して以前のような活気ある町に戻って欲しいです(萌子さん)



せい じ
倉澤誠司さん
(織笠出身)



やっと成人になったという思いもありますが、その反面まだ実感が湧きません。札幌で教師になるため勉強しています。柔道で全国大会に出場できたので、これからも技を磨きたいです。

平成27年町成人式



自覚ある大人への飛躍

1月11日、平成27年の町成人式が町中央公民館大ホールで行われ、新成人154人が参加しました。主催者を代表して佐藤信逸町長が「肝心なのは前を向いて歩き出し、突き進んでいくこと。責任と自覚、目標を持つて欲しい」とあいさつ。その後横田和さん(大浦)が力強く町民憲章を読み上げました。昆暉雄議長と勝山君雄選挙管理委員長の祝辞に続き、新成人を代表して坂本香純さん(田の浜)が、「東日本大震災への支援

に対する感謝の気持ちと、それをきっかけに貢献したいという思いを持って生きてきました。それぞれの道は違いますが、責任ある社会の一員として精一杯歩んでいきます」と『二十歳の決意』を述べました。式終了後には、記念講演が行われ、新成人の中学校時代の恩師、稲垣道子さん(前山田中教諭)と北田円さん(豊間根中教諭)が、中学時代の写真や映像を織り交ぜながら祝福し、新成人を励ましました。



町民憲章を読み上げる
横田和さん



坂本香純さんによる二十歳の決意